

## Step-up 高校英文法

高校で習う英文法の内容を、基礎から発展まで段階を踏んで、詳しく学習することができます。〈基礎編〉〈高1編〉〈高2編〉と内容が分かれていますから、自分のレベルにあわせて、学年別、分野別に学習することができます。また、英語が苦手な人も、〈基礎編〉から始めることにより、基礎から大学受験レベルまで、無理なく実力アップをはかることができます。

### ■ □ ■ 目次 ■ □ ■

#### 1. 基礎編

##### ・文の種類 文の種類

- 肯定文と否定文
- 否定文への書きかえ
- 否定疑問文とその答え方
- 疑問詞で始まる疑問文(1)
- 疑問詞で始まる疑問文(2)
- 疑問詞で始まる疑問文の語順
- do you think などの挿入(1)
- do you think などの挿入(2)

##### ・命令文・感嘆文

- 命令文／勧誘の文(1)
- 命令文／勧誘の文(2)
- 〈命令文, and/or …〉
- If ~ → 〈命令文, and/or …〉への書きかえ
- 感嘆文
- 感嘆文の What/How(1)
- 感嘆文の What/How(2)
- SVO(=感嘆文)とSVOO(=感嘆文)(1)
- SVO(=感嘆文)とSVOO(=感嘆文)(2)

##### ・付加疑問文

- 付加疑問文
- 付加疑問文の意味(1)
- 付加疑問文への書きかえ(be 動詞)

- 付加疑問文への書きかえ(一般動詞)
- 付加疑問文への書きかえ(助動詞など)
- 付加疑問文への答え方
- 命令文と Let's ~. の付加疑問
- 付加疑問文の意味(2)

##### ・文型 SV/SVC/SVO

- 第1文型: 〈S+V〉
- 文の要素と修飾語句
- 第2文型: 〈S+V+C〉
- 第1文型と第2文型の書きかえ
- 第3文型: 〈S+V+O〉(1)
- 第3文型: 〈S+V+O〉(2)
- 第3文型と第2文型の見分け方(1)
- 第3文型と第2文型の見分け方(2)
- 第1, 第2, 第3文型の見分け方

##### ・SVOO/SVOC

- 第4文型: 〈S+V+O(人)+O(物)〉(1)
- 第4文型: 〈S+V+O(人)+O(物)〉(2)
- 第4文型⇔第3文型の書きかえ(1)
- 第4文型⇔第3文型の書きかえ(2)
- 第5文型: 〈S+V+O+C〉(1)
- 第5文型: 〈S+V+O+C〉(2)
- 第4文型と第5文型の見分け方(1)
- 第4文型と第5文型の見分け方(2)

5文型のまとめ

•時制 現在形・過去形・未来形

現在形の表す意味

肯定文・疑問文・否定文のまとめ

過去形の形と意味(1)

過去形の形と意味(2)

未来形の形と意味

現在形・過去形・未来形のまとめ

•現在進行形・過去進行形

現在進行形と現在形

現在進行形の疑問文と否定文

進行形を作らない動詞

過去進行形

過去進行形の疑問文と否定文

過去形と過去進行形

•現在完了

「継続」を表す現在完了(1)

「継続」を表す現在完了(2)

「経験」を表す現在完了(1)

「経験」を表す現在完了(2)

「完了・結果」を表す現在完了

過去形と現在完了形の違い

現在完了のまとめ

•受動態 SVOの受動態

能動態と受動態

能動態 → 受動態への書きかえ

受動態 → 能動態への書きかえ

受動態に書きかえられる文

受動態の否定文・疑問文への書きかえ

疑問詞で始まる受動態の疑問文への書きかえ

能動態か受動態か

•不定詞 名詞的用法

不定詞が主語になる場合

It is ... to ~.の文

不定詞が目的語になる場合

否定文・疑問文への書きかえ

不定詞が補語になる場合(1)

不定詞が補語になる場合(2)

〈疑問詞＋不定詞〉

•形容詞的用法・副詞的用法

不定詞の形容詞的用法

形容詞と形容詞的用法の不定詞の違い

前置詞を伴う不定詞

目的を表す不定詞の用法

目的の意味を表す節への書きかえ

〈so as to ~〉と〈in order to ~〉

•動名詞 基本用法

動名詞が主語や補語になる場合(1)

動名詞が主語や補語になる場合(2)

動名詞が動詞の目的語になる場合

目的語に動名詞か不定詞か(1)

目的語に動名詞か不定詞か(2)

動名詞が前置詞の目的語になる場合

動名詞を用いた慣用表現

動名詞の働き

動名詞のまとめ

•分詞 分詞の形容詞的用法

現在分詞の形容詞的用法

補語としての現在分詞

過去分詞の形容詞的用法

補語としての過去分詞

•関係詞 関係代名詞(主格/目的格)

主格の関係代名詞

主格の関係代名詞による2文結合

関係代名詞としての that

目的格の関係代名詞

目的格の関係代名詞による2文結合

目的格の関係代名詞の省略

目的格の関係代名詞の省略による2文結合

関係代名詞の主格と目的格の識別(1)

関係代名詞の主格と目的格の識別(2)

•**関係代名詞(所有格)**

- 所有格の関係代名詞(1)
- 所有格の関係代名詞(2)
- 所有格の関係代名詞による2文結合
- who と whose の識別
- whose と whom の識別

•**比較 原級**

- 比較(原級) (…と同じくらい～)
- 比較(原級) (…ほど～ない)
- 比較(原級)倍数表現

•**比較級**

- 比較表現(比較級の文の基本)
- 比較表現(than ～での語句の省略)
- 比較(原級による比較 → 比較級による比較)
- 比較(程度・差を表す修飾語句)
- 漸増比較級(比較級+and+比較級)「だんだん～」

•**最上級**

- 比較(最上級の文の基本)
- 比較(「～の中で」の意味の in と of)
- 比較(まとめ)

•**助動詞 助動詞 -義務・必要-**

- 助動詞(義務・必要)
- 助動詞(禁止・不必要)
- 助動詞(推断)

•**助動詞 -能力・許可-**

- 助動詞(許可・推量)
- 助動詞(能力・許可)
- 〈would like to+原形〉

•**it 時間などの it・形式主語**

- it(時間・天候・寒暖・明暗・距離)
- 形式主語の it(1)
- 形式主語の it(2)
- It is … of — to ～.(1)
- It is … of — to ～.(2)

•**接続詞 等位接続詞**

- 等位接続詞(and, or)
- 等位接続詞(命令文+and[or])
- 等位接続詞(but, for)

•**従位接続詞**

- 従位接続詞(名詞節)
- 従位接続詞(副詞節)
- 従位接続詞(副詞節の先行)

**2. 高1編**

•**文型 SVC(C=節)**

- 〈SVC〉 (S+be 動詞+that 節)
- 〈S+be 動詞+that 節〉のさまざまなS
- 〈S+be 動詞+that 節〉の文の働き
- 〈SVC〉 (S+be 動詞+疑問詞節)
- 〈疑問詞節〉の語順
- 〈S+be 動詞+whether ～〉

•**SVO(O=節)**

- 〈SVO〉 (O=that 節)
- 〈SVO〉 (O=that 節) that の省略
- 〈SVO〉 (O=if/whether 節)
- 〈SVO〉 (O=疑問詞節)
- 疑問文から間接疑問への転換

•**SVOO(O=節)**

- 〈SVO1O2〉(O2=that 節)
- 〈SVO+to 不定詞〉 → 〈SVO+that 節〉
- 〈SVO+if/whether ～〉
- 〈Do/Does/Did ～?〉の疑問文 → if/whether 節
- 〈SVO1O2〉(O2=疑問詞節)
- 疑問詞で始まる疑問文 → 疑問詞節

•**SVOC(C=不定詞)**

- 〈SVOC〉(V=知覚動詞・C=原形不定詞)
- 〈SVOC〉(V=使役動詞・C=原形不定詞)
- 〈S+get+O+to 不定詞〉
- 〈S+V(want, ask など)+O+to 不定詞〉
- 〈S+V(think, believe など)+O+to be ～〉

<SV+that 節> → <SVO+to be ~>

<SVOC(C=不定詞)>の文のまとめ

•時制 現在形の特別な用法

副詞節中で「未来」を表す現在時制  
時を表す接続詞を使って2文を1文に  
when と if の違い

if/when ~: 副詞節と名詞節

確定した未来のことを表す現在形

• 現在完了進行形

現在完了進行形とその意味  
現在完了進行形への書きかえ(1)  
現在完了進行形(すでに終わった動作)  
現在完了進行形への書きかえ(2)  
how long+現在完了進行形

• 過去完了

過去完了形<had+過去分詞>  
現在完了 → 過去完了の書きかえ  
前後関係を表す過去完了  
過去の時点を示す副詞節

•受動態 助動詞を用いた受動態

助動詞を用いた受動態  
<受動態>→<助動詞+受動態>  
<助動詞+能動態>⇔<助動詞+受動態>(1)  
<助動詞+能動態>⇔<助動詞+受動態>(2)  
未来形の受動態  
<will+能動態>→<will+受動態>  
助動詞を用いた受動態のまとめ

• 現在完了の受動態

現在完了の受動態  
過去の受動態 → 現在完了の受動態  
現在完了の能動態 ⇔ 現在完了の受動態(1)  
現在完了の能動態 ⇔ 現在完了の受動態(2)  
現在完了の受動態の疑問文・否定文  
現在完了の受動態のまとめ

• 過去完了の受動態

過去完了の受動態

現在完了の受動態 → 過去完了の受動態

過去完了の能動態 ⇔ 過去完了の受動態(1)

過去完了の能動態 ⇔ 過去完了の受動態(2)

過去完了の受動態の否定文・疑問文

過去完了の受動態のまとめ

• SVOO/SVOC

SVOIO2 の受動態

間接目的語を主語にした受動態

直接目的語を主語にした受動態

疑問詞を用いた受動態の疑問文

SVOCの受動態

SVOCの受動態への書きかえ

• SVO+不定詞の受動態

<SVO+to 不定詞>の受動態

<SVO+to 不定詞>の文 → 受動態の文

<SVO+to be ~>の受動態

<SVO+to be ~>の文 → 受動態の文

<SVO+原形不定詞>の受動態

<SVO+原形不定詞>の文 ⇔ 受動態の文(1)

<SVO+原形不定詞>の文 ⇔ 受動態の文(2)

•不定詞 不定詞の副詞用法

感情の原因を表す不定詞(1)

感情の原因を表す不定詞(2)

判断の根拠を表す不定詞

仮定や条件を表す不定詞

不定詞の副詞用法のまとめ(1)

不定詞の副詞用法のまとめ(2)

•be sure/eager to ~など

be sure to ~, be likely to ~など

It is certain that ..., It is likely that ...

It is likely that ... → S be likely to ~

be sure to ~, be likely to ~などのまとめ

「意志・欲求」を表す不定詞の表現

be sure to ~と be eager to ~

• **S is easy to** ～

S is easy [impossible など] to ～(1)

S is easy [impossible など] to ～(2)

形式主語 it を用いた文への書きかえ

「Sは～するのが…だ」への書きかえ

〈S+be 動詞+形容詞+不定詞〉のまとめ(1)

〈S+be 動詞+形容詞+不定詞〉のまとめ(2)

• **意味上の主語/否定形**

不定詞の意味上の主語(1)

不定詞の意味上の主語(2)

〈It is ～ of — to …〉(1)

〈It is ～ of — to …〉(2)

不定詞の否定形(1)

不定詞の否定形(2)

• **動名詞 完了・受動態・否定**

完了・受動態・否定の動名詞(1)

完了・受動態・否定の動名詞(2)

完了・受動態・否定の動名詞(3)

完了形の動名詞を使わなくてもよい場合

that 節に書きかえ可能な動名詞

• **動名詞の意味上の主語**

動名詞の意味上の主語

目的格と所有格の使い分け(1)

目的格と所有格の使い分け(2)

意味上の主語を示さないとき

意味上の主語がある場合とない場合

• **分詞 現在分詞を用いた分詞構文**

分詞構文の基本

分詞構文における分詞の働き(1)

分詞構文における分詞の働き(2)

分詞構文を用いた書きかえ

「譲歩」や「条件」を表す分詞構文

• **過去分詞を用いた分詞構文**

過去分詞を用いた分詞構文(1)

過去分詞を用いた分詞構文(2)

分詞構文における分詞のはたらき(1)

分詞構文における分詞のはたらき(2)

過去分詞の分詞構文を用いた書きかえ

分詞構文の意味

• **関係詞 前置詞+関係代名詞**

前置詞を伴う関係代名詞 (先行詞=人間以外)

前置詞を伴う関係代名詞 (先行詞=人間)

〈前置詞+関係代名詞〉

• **関係代名詞 what**

関係代名詞としての what(1)

関係代名詞としての what(2)

関係代名詞の what を含む慣用表現

• **関係副詞 when/where**

関係副詞の when と where

関係副詞による2文結合

〈関係副詞〉→〈前置詞+関係代名詞〉

関係代名詞と関係副詞の識別

関係副詞の先行詞の省略とその復元

• **関係副詞 why/that**

関係副詞の why

先行詞 the reason もしくは関係副詞 why の省略

関係副詞の that

関係副詞 that の省略

• **比較 倍数表現**

倍数表現(n times as ～ as)

倍数表現(have n times as many [much] ～ as …)

倍数表現(分数 as ～ as …)と分数の言い方

〈副詞+as ～ as〉

倍数表現(n times the 名詞 of)

• **原級を用いた重要構文**

as ～ as one can / as ～ as possible

as many as ～ / as much as ～

as を含む重要表現

• **比較級を用いた重要構文**

〈the+比較級〉を含む構文3種

A is no more B than C is D

not more than ～と no more than ～の識別

not less than ～と no less than ～の識別

• **最上級を表す原級・比較級**

Nothing … as[so]+原級+as ～など

最上級の文と原級の文との書きかえ

as ～ as any …と as ～ as ever …

Nothing+動詞+比較級+than …

最上級の文と比較級の文との書きかえ

比較級+than any other …

最上級と(比較級+than any other …)

• **比較級・最上級の強調**

比較級・最上級の強調(その1)

比較級の強調および程度の表現

〈one of+the+最上級+複数名詞〉

最上級(+関係代名詞 that)+現在完了(1)

最上級(+関係代名詞 that)+現在完了(2)

even の意味を含む最上級

• **助動詞 助動詞 -可能性・推量-**

may/might/couldと must/have (got) to

助動詞の否定形

推量の疑問文

• **助動詞 -義務・忠告-**

should ～と ought to ～

should not ～と ought not to ～

should[ought to] have+過去分詞

had better ～と had better not ～

• **助動詞 -依頼-**

「依頼」の表現

would を用いた慣用表現

Shall I ～?と Shall we ～?の識別

依頼・勧誘・申し出に対する答え方

• **助動詞 -過去の習慣-**

過去の習慣的動作を表す used to ～

used to ～の否定文と疑問文

used to ～と be used to ～ing の識別

would (often) ～の意味と使用上の制約

• **仮定法 仮定法過去**

仮定法過去の基本(1)

仮定法過去と be 動詞

仮定法過去の基本(2)

仮定法過去の基本(3)

仮定法過去の文への書きかえ

仮定法過去を用いた会話の慣用表現

• **I wish/If only+仮定法**

I wish+S+動詞の過去形 ～.

I wish の後ろの主語が I 以外の場合(1)

I wish の後ろの主語が I 以外の場合(2)

If only+S+動詞の過去形 ～.(1)

If only+S+動詞の過去形 ～.(2)

• **否定 部分否定**

部分否定

副詞を用いた部分否定(1)

副詞を用いた部分否定(2)

both, neither, either を用いた部分否定(1)

both, neither, either を用いた部分否定(2)

• **全体否定**

否定語の位置

全体否定への書きかえ(1)

全体否定への書きかえ(2)

neither の使い方

否定文を受ける neither の使い方

• **I don't think~/強調語句**

I don't think ～(1)

I don't think ～(2)

否定を強調する語句

• **too ～ to …/fail to ～**

〈too ～ to …〉を用いた文(1)

〈too ～ to …〉を用いた文(2)

fail to ～を用いた文



否定の意味を表す慣用表現(1)

否定の意味を表す慣用表現(2)

• **it 形式主語(動名詞/節)**

形式主語 it が動名詞を指す場合

形式主語 it が that 節を指す場合(1)

形式主語 it が that 節を指す場合(2)

that 節中で用いられる should

疑問詞節などを指す形式主語 it

• **強調構文**

強調構文の基本(1)

強調構文の基本(2)

副詞(句・節)を強調する場合

形式主語の構文と強調構文の見分け方

いろいろな強調の方法

• **It seems that ～など**

It seems[appears] that ～

It happens[chances]that ～など

seem などを用いた文の書きかえ(1)

seem などを用いた文の書きかえ(2)

• **形式目的語(不定詞を指す)**

形式目的語(不定詞を指す場合)(1)

形式目的語(不定詞を指す場合)(2)

形式目的語(動名詞を指す場合)(1)

形式目的語(動名詞を指す場合)(2)

• **形式目的語(節を指す)**

形式目的語(that 節を指す場合)

形式目的語の it を用いた慣用表現

形式目的語(疑問詞節などを指す場合)(1)

形式目的語(疑問詞節などを指す場合)(2)

形式目的語(節を指す場合のまとめ)

• **代名詞 不定代名詞 one,that,those**

不定代名詞 one

one と it の違い

「人」の意味の one

繰り返しを避ける that/those

文・句・節の内容を指す this, that

those who ～

• **不定代名詞 other, another**

one ～ the other …などの慣用表現

some ～ some{others} …

another と some others

another・other の慣用句

one / another / some / other のまとめ

• **再帰代名詞**

再帰代名詞の再帰用法

再帰代名詞の強調用法

再帰代名詞と代名詞の違い

〈前置詞+再帰代名詞〉の慣用表現

再帰代名詞を用いた表現

• **接続詞 従位接続詞(理由/原因等)**

理由・原因を表す接続詞

接続詞 as の用法

譲歩の接続詞(1)

譲歩の接続詞(2)

前後の節の内容による接続詞の使い分け

even though ～, even if ～を用いた文(1)

even though ～, even if ～を用いた文(2)

• **従位接続詞(条件)**

〈条件〉を表す if と unless

〈命令文[must の文]+or〉から unless への書きかえ

in case「～の場合には」「～するといけないから」

provided/as far as/as far as ～ be concerned

**3. 高2編**

• **文型 SVC(C=分詞)**

〈SVC〉(C=現在分詞)

〈V+現在分詞〉の意味

〈SVC〉(C=過去分詞)

現在分詞と過去分詞の意味の違い

〈get+過去分詞〉

• **SVOC(C=分詞)**

〈S + 知覚動詞 + O + 現在分詞〉

原形不定詞と現在分詞の意味の違い

SVOCでCに現在分詞をとる動詞

〈S + 知覚動詞 + O + 過去分詞〉

〈S + 使役動詞(have/get) + O + 過去分詞〉

〈SVOC(分詞)〉の受動態

・時制 現在進行形の特別な用法

未来のことを表す現在進行形

反復・習慣を表す現在進行形

〈be 動詞 + being ~〉

現在進行形の特別な用法(まとめ)

・未来進行形

未来進行形

現在進行形 → 未来進行形

未来進行形の否定文・疑問文

必然的な未来を表す未来進行形

未来の時を表す語句

未来のさまざまな表しかた

・be 動詞 + to 不定詞

〈be 動詞 + to 不定詞〉 予定・命令・義務

〈be 動詞 + to 不定詞〉 運命・可能・意図

〈be 動詞 + to 不定詞〉の用法の見分けかた

will 以外の未来を表す表現

・過去完了進行形

過去完了進行形

現在完了進行形 → 過去完了進行形

過去完了進行形の疑問文

過去進行形・過去完了形・過去完了進行形

・未来完了

未来完了

現在完了 → 未来完了

未来進行形と未来完了の使い分け

・受動態 進行形の受動態

進行形の受動態

受動態 → 進行形の受動態

進行形 → 進行形の受動態

進行形の受動態 → 進行形の能動態

進行形の受動態の疑問文・否定文

いろいろな受動態

・群動詞等の受動態

群動詞の受動態

群動詞の能動態 → 受動態

群動詞の受動態 → 能動態

〈他動詞 + 名詞 + 前置詞〉型の群動詞の受動態

・It is said that ~.

〈It is said (that) ~.〉の文

〈They/People say (that) ~.〉の書きかえ

〈S is said to ~.〉の文

〈S is said to ~.〉への書きかえ

〈S be said to ~.〉における完了不定詞

・不定詞 不定詞(結果)/独立不定詞

結果を表す副詞用法の不定詞(1)

結果を表す副詞用法の不定詞(2)

結果を表す副詞用法の不定詞(3)

否定的な結果を表す副詞用法の不定詞

結果・程度を表す不定詞の慣用表現

独立不定詞(1)

独立不定詞(2)

・受動態・完了形の不定詞

受動態の不定詞(1)

受動態の不定詞(2)

完了形の不定詞

完了形の不定詞を用いた書きかえ

実現されなかった願望などを表す完了形の不定詞(1)

実現されなかった願望などを表す完了形の不定詞(2)

・前置詞を伴う不定詞

前置詞を伴う形容詞用法の不定詞(1)

前置詞を伴う形容詞用法の不定詞(2)

前置詞を伴う副詞用法の不定詞

名詞を修飾する〈前置詞 + 関係代名詞 + 不定詞〉



- 前置詞を伴う不定詞のまとめ
- **seem to ～など**  
seem to ～, appear to ～  
<seem[appear]+to have 過去分詞>(1)  
<seem[appear]+to have 過去分詞>(2)  
It seems that ～への書きかえ  
seem to ～, appear to ～への書きかえ  
happen to ～, chance to ～, turn out to ～など
  - **不定詞と動名詞**  
不定詞を目的語にとる動詞  
動名詞を目的語にとる動詞  
目的語に不定詞をとるか動名詞をとるか  
不定詞・動名詞の両方を目的語にとる動詞(1)  
不定詞・動名詞の両方を目的語にとる動詞(2)  
受動の意味を表す動名詞
  - **分詞 接続詞で始まる分詞構文**  
(接続詞+分詞構文)  
否定の分詞構文  
否定の分詞構文への書きかえ
  - **完了形の分詞構文**  
完了分詞構文(能動態と受動態)  
完了分詞構文(能動態と受動態)への書きかえ  
否定の完了分詞構文
  - **独立分詞構文**  
分詞構文の意味上の主語  
being 及び having been の省略  
副詞節から分詞構文への書きかえ  
意味上の主語を省略する場合(慣用句など)
  - **関係詞 関係代名詞の非制限用法**  
関係代名詞の非制限用法  
関係代名詞の非制限用法の書きかえ  
非制限用法における関係代名詞の使い分け  
非制限用法における(前置詞+関係代名詞)
  - **関係副詞 how/the way**  
方法や経緯を表す関係副詞 how

- 関係副詞 how と同等の働きをする the way  
関係副詞の先行詞を省略した用法
- **関係副詞の非制限用法**  
関係副詞の非制限用法  
関係副詞の非制限用法の書きかえ  
関係代名詞と関係副詞の識別
  - **二重限定/前文を指す which**  
関係代名詞の二重限定(1)  
関係代名詞の二重限定(2)  
句や節を先行詞とする関係代名詞 which  
非制限用法の関係代名詞への書きかえ  
非制限用法の関係形容詞としての which
  - **複合関係詞**  
複合関係代名詞の「どんな～でも」の用法  
複合関係代名詞の譲歩の用法  
複合関係副詞(1)  
複合関係副詞(2)
  - **比較 比較の重要構文**  
比較級を用いた重要表現  
「～するとすぐに…」の2つの言い方  
最上級に the をつけない場合  
最上級を用いた重要表現  
ラテン比較級
  - **助動詞 助動詞+完了形**  
<may[might] have+過去分詞>  
<must[can't] have+過去分詞>  
<need not have+過去分詞>など
  - **助動詞-当然の推量・拒絶-**  
<当然の推量>を表す should[ought to]  
<意志>を表す will と<拒絶>を表す will not ～
  - **仮定法 仮定法過去完了**  
仮定法過去完了の基本(1)  
仮定法過去完了の基本(2)  
混合仮定法  
<I wish/If only+S+had+過去分詞 ～.>(1)

〈I wish/If only + S + had + 過去分詞 ~.〉(2)

仮定法過去と仮定法過去完了の違い

• **as if/as though + 仮定法**

〈as if/as though + 仮定法過去〉

〈as if/as though + 仮定法過去完了〉

〈as if/as though + 仮定法〉のまとめ(1)

〈as if/as though + 仮定法〉のまとめ(2)

• **if 節中に用いる should など**

〈If S should ~〉を用いた仮定

〈If S were to ~〉を用いた仮定(1)

〈If S were to ~〉を用いた仮定(2)

仮定法の慣用表現(1)

仮定法の慣用表現(2)

仮定法の慣用表現のまとめ

• **倒置構文/if 節相当語句**

if の省略による倒置(1)

if の省略による倒置(2)

副詞句が条件を表す場合

不定詞が条件を表す場合

主語が条件を表す場合

if を用いずに条件を表す場合のまとめ

• **if 節の省略/仮定法現在**

帰結節のみの文

仮定法現在(1)

仮定法現在(2)

〈should + 動詞の原形〉

• **否定 準否定/二重否定/not**

準否定語 hardly, scarcely, seldom, rarely

準否定語 few, little(1)

準否定語 few, little(2)

準否定語のまとめ

二重否定

否定を含む that 節を代用する not(1)

否定を含む that 節を代用する not(2)

• **否定語を含む慣用表現**

否定語を含む慣用表現(1)

否定語を含む慣用表現(2)

hardly[scarcely] ~ when[before] ...

「~するとすぐに」の意味を表す表現

否定語を含む慣用表現(3)

否定語を含む慣用表現(4)

• **修辞疑問文/倒置構文**

修辞疑問文(1)

修辞疑問文(2)

否定の倒置構文

否定の倒置構文への書きかえ(1)

否定の倒置構文への書きかえ(2)

• **名詞 可算・不可算名詞**

普通名詞

集合名詞(1)

集合名詞(2)

不可算名詞

物質名詞・抽象名詞・固有名詞の普通名詞化(1)

物質名詞・抽象名詞・固有名詞の普通名詞化(2)

物質名詞・抽象名詞・固有名詞の普通名詞化(3)

• **無生物主語**

無生物主語(1)

無生物主語(2)

無生物主語(3)

名詞化した動詞・形容詞の構文(1)

名詞化した動詞・形容詞の構文(2)

• **付帯状況(with + 名詞 + ~)**

付帯状況 〈with + 名詞 + 現在分詞/過去分詞〉

〈with + 名詞 + 形容詞(句)など〉

付帯状況を表す独立分詞構文(1)

付帯状況を表す独立分詞構文(2)

• **話法 話法**

直接話法

間接話法の文での注意点

直接話法から間接話法への転換(1)

直接話法から間接話法への転換(2)

say と tell の使い分け

伝達文が疑問文の場合の間接話法

伝達文が命令文の場合の間接話法

• **時制の一致**

時制の一致のルール(1)

時制の一致のルール(2)

時制の一致の例外(1)

時制の一致の例外(2)

話法を転換するときの時制の一致の注意点(1)

話法を転換するときの時制の一致の注意点(2)